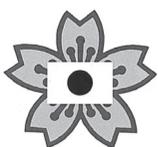


国防は最大の  
福祉である  
初代会長 高橋季義



# 國の支え

中井信夫元大阪府議会議長

関西防衛を支える会  
(略称・関防会)

〒541-0041  
大阪市中央区北浜4-2-13  
淀屋橋今西ビル3F  
TEL 06-4256-4868 FAX 06-4256-4869  
発行人 高橋忠義  
編集人 小野元裕  
印刷所 (株)新聞印刷

第80号

(新年号)  
令和2年1月1日(水)  
(皇紀2680年)  
(大正紀元109年)  
(昭和紀元95年)  
(平成紀元32年)

## 第23回・関西防衛を支える会 定期総会のご案内 【改めてご案内します】

日時 令和2年5月2日(土)  
会場 ホテルKKR大阪  
総会 15:30~16:15  
講話 16:30~18:00  
講師 潮 匡人氏(重機ジャーナリスト  
元航空自衛官)  
懇親会 18:15~20:15

このように中であって昨年夏には参議院選挙が行われ、関防会特別顧問の佐藤正久氏、太田房江氏、杉久武氏、高橋光男氏が当選されました。しっかり議論を重ね、国家防衛に資する政策を推進していただきたいと思っております。先の臨時国会で自衛官の初任給引き上げの改正給与法が成立したこと、まさに特別顧問国会議員の成果であり感謝申し上げます。一方、安倍総裁が憲法改正を示している憲法改正は、今後、どのように国会で取り扱われていくのか、本党の多くは議論にさへ応じない姿勢で、「桜を見る会」問題に終始し憲法改正を阻止する構えですが、発布後70年以上変えていない憲法をいつまで後生大事に温めておくというのでしょうか。憲法九条に自衛隊を明記することは絶対に必要なことと信じています。私たちが特別顧問の国会議員とともに、真剣に憲法改正を議論しこの国民的課題に臨みたいと思っております。私が一昨年4月に会長を

昨年台風15号、19号、その後の集中豪雨など災害の多い年となりました。その度に自衛隊が動員し、救助活動や被災者支援に力を尽くして下さり本当に頼もしい存在だと感じました。重ねて御礼申し上げます。鮮は複数回にわたって国連



## 会勢拡大に御協力お願いします 活動を広くアピール 会員千名をめざして

期待したいと思っております。現在、9人の大学生等が加入しています。これら若い人たちが自衛隊を知り、国家防衛に興味を持ってくれることを期待しています。彼らの中から自衛官を目指す者が出てきてくれたら、これほど喜ばしいことはないと思っております。

現在、事務所は再開発のため今年夏以降に解体されることとなり、それに伴って事務所を移転しなければなりません。現在、移転先を検討中ですが、決定しましたら改めてお知らせいたします。移転期間中、皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

### バスで行く 昭和殉難者法務死追悼・年次法要 (東京裁判死刑判決による処刑死)

大東亜戦争後、戦犯として拘束され、戦勝国によって行われた東京裁判(極東国際軍事裁判)で死刑の判決を下され、処刑された方々が高野山奥の院に祀られています。毎年、「近畿偕行会」「昭和殉難者法務死追悼碑を守る会」により英霊を慰めるために、昭和の日に年次法要が執り行われています。

日時：令和2年4月29日(水)  
会費：8,700円(定員40人)  
(献花・灯明料・お弁当代¥3,000含む)  
(同封チラシをご覧ください)

### 新役員紹介 (入会順)

特別顧問

- 高橋光男氏(参議院議員)
- 原田憲治氏(衆議院議員)
- 松川るい氏(参議院議員)
- 太田房江氏(参議院議員)

顧問

- 井上 司氏(元海将補)

### ご入会のお願い

関西防衛を支える会では会員募集中です。ご入会ご希望の方は下記口座にお振り込み下されば、会員となります。

三井住友銀行守口支店  
普通口座 1261314  
口座名 関西防衛を支える会  
郵便振り込み  
口座番号 00960-2-137035  
口座名 関西防衛を支える会  
一般会員 年会費 3,000円  
維持会員 〃 10,000円  
法人会員 〃 20,000円  
学生会員 〃 1,000円  
ホームページからの申し込みも可  
<http://kanboukai.jp/>

\*1口以上何口でも申し受けます。  
銀行振り込みの場合は当会まで住所などご連絡下さるようお願いいたします。  
(または振込用紙に電話番号を記入して下さい)

\*会計年度は4/1~3/31です

学生会員  
大歓迎  
(高校生以上  
32歳まで)

### 第83回 拡大版 関防会の歴史勉強会 中島サロンのご案内 担当 菊池哲也、高村明美

(詳細は同封チラシをご覧ください)

日時 令和2年2月8日(土曜日) 午後4時から	要申込み	日時 令和2年4月4日(土曜日) 午後4時から
講師 小川榮太郎氏(一般社団法人日本平和学研究所理事長)		講師 久野 潤氏(歴史学者、大阪観光大学国際交流学部講師)
演題 「東京裁判」		演題 「神々を祀り、神々に護られてきた日本の国防」
会費 5,500円、非会員6,500円、学生2,000円(含む飲食代) 講演会のみ:関防会会員1,000円、非会員2,000円、学生 無料		会費 会員5,000円、非会員6,000円、 学生2,000円(含む飲食代) 講話のみ:会員1,000円、 非会員2,000円 学生無料
会場 ホテルKKR大阪(電話06-6941-1122)		会場 錦城閣(電話06-6941-2185)

第84回

# 観艦式2019研修旅行に参加して

深澤 岳大(学生会員)

10月14日。この日は令和元年海上自衛隊観艦式が執り行われるはずだった。しかし、過去最高クラスといわれた台風19号の被害に伴う災害派遣によって観艦式は中止となった。

護衛艦さみだれに乗ってこの観艦式を見学する予定だった関係者もその予定を少し変更し、研修旅行を行った。その時の様子について記す。

観艦式前日、13日の晩は京急ホテル油壺観潮で横須賀に勤務する現役海上自衛官との会食があった。教育隊や、掃海業務支援隊という部隊についてや、湾岸戦争後にペルシャ湾に派遣された掃海部隊についての話など、私たちがあまり知らないことについて知る貴重な機会だった。また、私たちの間に自衛官が座ってくたさったので、普段の自衛隊での生活や、入隊した理由などについても教えてもらった。

次の日、14日は午前中に記念艦三笠の見学を行った。館長の説明を聞きながら館内の展示を見てまわり、100年以上前に作られた船に思いを馳せた。お昼は普段入ることができない最下層の甲板でお昼ご飯を食べることができた。

記念艦三笠を出発した後、海上自衛隊横須賀基地へ向かった。観艦式が中止になった代わりに護衛艦の特別公開が行われていた。海上自衛隊最大の船である



研修旅行参加の学生会員達



観艦式2019研修懇親会



観艦式2019研修(戦艦三笠前)

「いずも」や、最新鋭の「あさひ」、イージス艦などが集合しており、そのすべての艦を見学することができた。「いずも」の甲板から見た護衛艦が10数隻並んでいる姿は壮観だった。

今回の研修旅行は、観艦式自体は中止になってしまったが、非常に貴重な経験をたくさんすることができたと同時に、現在の自衛隊について知ることができている機会だった。



航空自衛隊饗庭野分屯基地開設48周年記念行事(10月20日)



尾崎会員 航空自衛隊第5警戒隊長兼ねて串本分屯基地司令から感謝状受賞(10月6日)



陸上自衛隊明野駐屯地開設64周年記念行事(11月3日)



桃山御陵参拝(11月3日)



陸上自衛隊姫路駐屯地創立68周年記念行事(11月17日)

行事アラカルト

関防会

# 歴史勉強会

## 中島サロン

第81回  
10月5日



# 皇室の自律権

伏見稲荷大社 榎宜 黒田秀高氏

この度上皇陛下がご譲位なさいました。これは皇室典範には定められていません。政府は特例法で対応しました。この皇室典範がいかなる位置にあるのかを知っておく必要があります。帝国憲法と皇室典範は同列でした。しかし、戦後に皇室典範は日本国憲法の下に置かれるようになり、皇位とは二つの性格を持っています。一つは、国体としての皇統の継承です。もう一つは、政体としての制度です。天皇は政治上国家の最高機関であるという事です。天皇機関説とも呼ばれます。国政から離れて、政治から干渉されない皇室のあり方を皇室自律主義、あるいは皇室自律権といえます。欧州でも近代に王室法が作られました。日本では室町時代より公家法と武家法とがありました。江戸時代までは武家法で我が国の政治は動かされてきました。朝廷においては律令制度を基とする公家法が使われ、朝廷の独自性を保っていました。しかし、黒船来航で西洋の立憲主義を取り入れ、大日本帝国憲法と皇室典範が作られました。戦前の皇室典範については、国会で議論されることは許されませんでした。天皇陛下を議長とする皇族会議で審議されてきました。自律権を持っていたのです。しかし、米国の占領から大きく変わりました。マッカーサー草案に「皇位の継承は世襲にして国会の制定する皇室典範によるべし」とあり、皇室典範が憲法の下位になっていることが分かります。つまり、民法や刑法と変わらない位置にあるのです。昭和天皇はこの点を大変危惧されていました。

なってきた皇室典範には譲位については盛り込まれていません。ですから今回のご譲位は、明治の皇室典範からみ出ているという事になります。今回のご譲位や女性宮家創設の問題に関して「一番喜んでるのは共産党なんです。彼らは今沈黙を守っています。彼らは武力革命を諦めたので、皇室の自然消滅を待っているんです。『愛子内親王を天皇に』という声も出ている可能性があります。この現状をどうすれば良いか。私は平成26年に皇室典範改正案を出したことがあります。内容は、「皇族は養子をとることができなく」となっているのを「臣籍降下された同族に関しては養子にできるようなしる」等です。ある政治家に提案しましたが、憲法改正が優先ということで見送られました。旧宮家の復讐となりまずと、特例法で行うか、どのような方法が良いか考える必要があります。私は本意ではありませんが、今の皇室典範は国会の過半数でもって変えることができません。戦前のように皇室典範が独立した存在ではないからです。ですから、「皇族は同族を養子を迎えることができる」に変えることができます。旧宮家から養子を迎えて、宮家の存続を図るべきです。もしくは、宮家の女性が旧宮家の男性と結婚すれば、宮家が存続します。養子が禁じられた理由は経済的負担が大きくなったためです。江戸時代まで、損閥の方が親王家よりも地位が高かったため、これはおかしいという事で、明治維新で損閥家は排除されました。我が国の徳を真剣に考えたのが明治の元勳達でした。それが、帝国憲法と皇室典範になり、国を守って来ましたが、敗戦でそれらは大きく変えられてしまいました。今こそ我々の英知を結集して、一切の国務や政務に干渉されない皇室の自律権を復活させるべきだと考えます。

忠臣蔵は日本で最も人気のある歴史の出来事でしょう。しかし、最近の歴史研究では全く別の評価となりつつあるのを皆さんはご存じでしょうか。一般的な歴史研究において、忠臣蔵はあくまで「物語」であり、江戸城内での刃傷から大石ら旧赤穂藩士の討ち入り、その後の切腹までの一連の流れは「元禄赤穂事件」としてとらえられていますが、最近では「被害者はむしろ吉良の方ではないか」という見方も出てきているのです。

「吉良による浅野へのいじめ」といえば、例えば「勅使の御膳は精進料理にせよ」と直前になって言ってきたり、あるいは「200畳に及ぶ屋敷の畳替えは無用である」と嘘の情報を流したりしたことが挙げられ、これらの出来事からすれば、浅野が吉良を深く恨みに思ったのも無理はない、という筋書きになっています。しかし、これらを現代に置き換えればどうなるでしょうか。重要な営業などの接待において、相手に対して葬式のような料理を出させ、さらには宿泊先の掃除すら出来ていないような有様だった場合、接待の指導並に監督役の吉良は相手にどう申し開きをするでしょうか。そんな言い訳が通用するはずありません。浅野は卑怯にも吉良を後ろからいきなり斬り付けたというのです。そこには「吉良による浅野への罵倒」などあるはずもなく、しかも老人の吉良に対して、壮年の浅野が何太刀も浴びせながら、殺害することすらできませんでした。浅野には鬱病があったと言われています。つまり、鬱病の頃の浅野は精神的に不安定となっており、不幸にも儀式当日に「鬱」がピークに達し、いわゆる錯乱状態になってしまったのではないかと、このように考えられています。脇差のような短刀であれば、斬るよりも刺す方が相手を確実に殺傷できます。それなのに、浅野は何度も斬り付けるだけで刺さっていませんでしたから、このあたりにも精神的に追い込まれて尋常でない様子がかがえる、というのです。以上



# 忠臣蔵

歴史講談師 黒田裕樹氏

の考えをまとめれば、元禄赤穂事件における江戸城内の刃傷沙汰は浅野による勝手な「暴発」がもたらした「不幸な出来事」であり、被害者でしかなかった吉良に対して大石らが討ち入ったのは私刑、すなわち「リンチ」であったという結論も有り得ることになってしまっている。私はそうではないと思います。

江戸時代初期の学者であった山鹿素行も初めは朱子学を学んでいましたが、時が経つにつれて朱子学に疑問を抱くようになり、寛文5年(1665年)に「聖教要録」を著しました。聖教要録は「武士道とは何か」を説き明かしたものでしたが、その中で朱子学を批判したために幕府の怒りを買って、寛文6年(1666年)に、以前に家臣として仕えていた「ある藩」へ流罪となりました。実は、その藩こそが赤穂藩でした。赤穂藩では山鹿素行を流人ではなく師として迎え、素行は藩士たちに学問を教えることになったのですが、その中に幼き日の大石内蔵助良雄がいたのです。素行は日本の中心として存在する「万世一系の皇室」であり、神代以来絶えることなく続く皇室こそが、わが国の国体かつ中心であるという皇室尊崇論を説きました。

第82回  
12月8日  
中島サロン

歴史勉強会

講話内容を網羅したレジュメを差し上げます。  
希望者は事務所まで。

では、もう一方の吉良上野介義央はどうかだったのでしょうか。吉良家は室町幕府以来の名家でしたが、江戸時代になって江戸幕府に高家として取り立てられ幕府の儀典関係を取り仕切る家として存続しました。つまり、吉良家は「幕府大事」の家柄であり、上野介義央自身も、江戸幕府のために高家の身分を利用して「暗躍」することになるのです。「尊皇」の藩主である浅野内匠頭長矩が「幕府大事」の吉良上野介義央に対して何らかの事情によって咄嗟に「殺気」がよぎり、反射的に刃傷に及んだ、とは考えられないでしょうか。以下は私の推論ですが、江戸城内において吉良と堀川とが会話した際、儀式のストレスでもあったのか、吉良が堀川に対して勅使に対して悪口ともいえる不用意な言葉を放つと、近くにいた浅野が不幸にもそれを耳にしまいました。それまでの吉良による勅使への仕打ちに対して懸念に耐え続けてきた浅野も、堪袋袋の積りが切れると同時に吉良への怒りが爆発し、我を忘れて錯乱状態のようになつて刃傷に及んだのでした。

刃傷後の取り調べで浅野は吉良への「遺恨」を認めましたが、その理由が吉良による数々の天皇に対する「不敬」であることが分かっています。元禄赤穂事件の背景に「尊皇 vs 幕府」があったことを見抜いた大坂の浄瑠璃作者たちは、幕府の咎めを受けることなく、何とかして舞台上で浅野主従の願いと自分たちの反幕府の思いを果たすことができないかと考え、苦勞の末に編み出したのが「仮名手本忠臣蔵」だったのです。なぜそう言い切れるかというと、高師直の官職名が「武蔵守」だからです。「武蔵守」を名乗った大名や旗本は江戸時代になってからは一人もいませんでした。つまり、江戸時代の人々にとって「武蔵守」とは「徳川將軍」を意味していたとともに、敵役の「高武蔵守師直」が舞台の上で「死ぬ」ことによって、「將軍家の死」を表現していたのです。だからこそ、大坂の人々は、仮名手本忠臣蔵を旧赤穂藩へのオマージュとするのではなく、舞台の上での「將軍殺し」に喝采を送ったのでした。

「元禄赤穂事件」は、大石ら旧赤穂藩士の切腹と、吉良家の取り潰しという結果で幕を閉じました。しかし、討ち入りから4年後の宝永3年(1706年)には、近松門左衛門が赤穂事件を題材にした人形浄瑠璃「暮盤大立記」を書き上げて、大坂の竹本座にて上演されました。以後も浄瑠璃や歌舞伎の人気題材となりました。そして、これらの流れの集大成となったのが、二代目竹田出雲との合作で、奇しくも刃傷事件から47年後の寛延元年(1748年)に、大坂で人形浄瑠璃として上演された「仮名手本忠臣蔵」でした。仮名手本忠臣蔵といえは、浄瑠璃や歌舞伎などで現代にまで続く大ヒット作として有名ですが、その理由として、日本人好みのドラマ性以外に「隠されたメッセージ」があるからなのです。仮名手本忠臣蔵には、誰にでも「元禄赤穂事件の引き写し」と分かる様々な要素が散らばられています。例えば「仮名手本」は「いろは四十七文字」のことであり、討ち入った旧赤穂藩の四十七士と掛けています。「忠臣蔵」は忠臣大石内蔵助からか、あるいは「蔵」一杯になるほど多くの忠臣」という意味が込められています。また高師直や堀谷判官高貞はそれぞれ実在の人物ですが、高師直は吉良の役職である「高家」を、堀谷判官は赤穂の名産である「塩」をそれぞれ掛けており、さらには判官の家老である大星由良之助の妻は「お石」であり、2人合せて「大石」となります。



特攻勇士慰霊祭 自衛官のラッパ演奏 (10月27日)



特攻勇士慰霊祭約80人参加、関防会から約20人参加 (10月27日)



天皇陛下御即位奉祝御堂筋「提灯行列」約3500人参加、関防会から約200人参加 (11月20日)

12月6日の中島サロン(歴史勉強会)の参加者から寄付をいただいた募金を施設に届けました。(左・高橋会長、右・施設長)



施設の子どもたちに自衛隊を紹介  
昨年、堺の児童養護施設で暮らす子どもたちに「将来の夢と希望を持ってもらえよう」と自衛官4人と訪問し、自衛隊の説明会を実施しました。



陸上自衛隊中部方面隊創隊59周年記念行事 (10月6日)

# 在韓米軍の動向

山本 賢一

2017年5月、韓国において、親北を主たる政策とする文在寅政権が出現した。2018年の4月と6月に南北首脳会談を行い、南北関係が大きく緩和されたことにより、わが国では、在韓米軍が撤退する可能性が出てきたと考える向きがある。しかし、現実をよく調べてみると、在韓米軍は質量ともに拡充されつつあると見た方がいいようだ。なぜなら、ソウルの南約60キロの場所にあるピョンテク(平沢)市には、世界最大級の陸軍基地が建設されているからである。

ピョンテク市は、もともと黄海に面する農村で、以前は小規模な前線基地が存在するだけだったが、2004年に米韓両政府が協定を結び、ハンフリーズ基地(Camp Humphreys)が建設されることになった。

ハンフリーズ基地の概要  
① 総面積 13454 エーカー(1398ヘクタール、ヤンキースタジアム29個分)  
② 飛行場 2基(Daedeung Army Airfield(滑走路の長さ約5500m、1本))  
(注)当該基地の北には空軍用の2本滑走路を有するオサン(烏山)空軍基地があり、西側10キロにはピョンテク港がある。緊急時に基地所属の人員を空路と海路によって迅速に脱出させることが可能な配置となっている

③ 機能 II 在韓米軍と在韓国連軍の総司令部機能  
④ 所属部隊 II 在韓米軍総司令部、国連軍司令部、第二歩兵師団、航空兵団

⑤ 基地に所属する人員 II 現在2万8000人(3年前までは6000人規模だった)  
2020年までには軍人軍属、その家族を含めて4万2000人規模へ拡大予定。

⑥ 基地のモットー II 「Support」(生き残り)、「Defend」(防衛せよ)、「Defend」(防衛せよ)

⑦ 基地の歴史 II 1919年(大正8年)日本軍が建設。朝鮮戦争時代は国連軍の飛行場として使用され、その後、米空軍、海兵隊も使用したことがある。

⑧ 基地の名前 II 1962年、任務中にヘリコプター事故で死亡したベンジャミン・ハンフリーズ参謀長を顕彰するために現在の名前に変更された

⑨ 基地の名前 II 1962年、任務中にヘリコプター事故で死亡したベンジャミン・ハンフリーズ参謀長を顕彰するために現在の名前に変更された

もともと在韓米軍の主力部隊は、ソウルの近郊・ヨンサン(龍山漢江の北岸)という場所にあったが、停戦ラインから近いというところで、いざいざ南方へ移動させることが検討されていた。

ピョンテク市のハンフリーズ基地建設計画はほぼ完成に近づいており、すでに大規模なマンション群や戸建て住宅が建設され、同時に並行的に子供用の教育施設、病院、教会、大型のショッピングセンター、体育館やプール、野球場、映画館、図書館、18ホールのゴルフコースが併設されている(当然のことながら兵士の戦闘能力を維持する訓練施設も併設されているものと考えられる)。

同基地の建設にかかる費用合計は約110億ドルで、この9割は韓国政府の負担であるという(文在寅政権発足時点で、韓国政府の債務残額は不明だが、文政権がこの建設費用の支払いを拒否したという報道はない。トランプ政権は韓国政府の負担割合を95%にするように要請しているという報道がある)。

前述のように、同基地の建設計画は十数年前からスタートしており、親北政権の文内閣成立後でも順調に進められている。というところ、米政府は、在韓米軍を削減することを撤退は全く考えていないと考えられる。

韓国内の米軍基地は、従来、ヨンサンを中核として26カ所に分散していた。ところが北朝鮮の金正恩政権は、核開発とミサイル開発に力を注ぎ、朝鮮半島の軍事的緊張は相当に高まった。さらに在韓米軍に対するサイバー攻撃や無人機攻撃の脅威が急速に増大したことによって、ハイトクによって防衛できる高性能の大規模要塞が必要となった、と考えられる。

ハンフリーズ基地は、ヨンサン基地のほぼ7倍の面積を持ち、基地の地盤は従来の地面よりも2・6mかさ上げして、洪水に備えている。さらに、韓国国内の基地をつなぐ超高速の通信ケーブルが敷設されており、本国ばかりでなく在日米軍との通信能力も格段に向上していると伝えられている。

米軍がソウルの南60キロの地に世界最大規模の陸軍基地を建設する背景としては次の点が考えられる。

① 北朝鮮の核開発やミサイル開発が進み、在韓米軍に対する軍事的脅威が増大している。

② 朝鮮半島の軍事情勢が不安定になり、韓国在留の米国人の保護が緊急の課題として浮上ってきており、いざいざ時に韓国在留の米国人を巨大な基地に集めて、効率的に海外へ移転させる機能が必要となった。

③ 共産シナの軍事的膨張が続いているため、共産シナ軍をけん制できる部隊を大陸に近い場所に設置する必要があること。

すなわち、日本の沖縄、岩国、三沢の空軍、佐世保と横須賀に配置している海軍、そして朝鮮半島のハンフリーズ基地という世界でも最大クラスの要塞に配置された陸軍によって、北朝鮮を厳しくけん制すると同時に、共産シナに対するけん制機能も付与しようとしている。

事実、ネット情報によると、「ハンフリーズ基地」に関する米軍の解説書では「チャイナに近い」ことを力説している。

半島には3000人程度の米海軍部隊があり、1000人程度の海兵隊も存在している。空軍基地は前述のヨンサン基地に加えて、クンサン(群山、中部黄海沿岸)にも同程度の空軍基地を有する。空軍の規模は8000人程度で、陸軍の2万人規模に比べれば格段に小さい。

在韓米軍の中には、例外的に、停戦ラインに近い場所すなわちソウルの北側・東豆川(トンデウチュン)に駐留する部隊がある。第二歩兵師団隷下の第210野戦砲兵旅団である。

この部隊は、多連装ロケット砲多数を保持しており、北の人民軍が韓国に侵攻するか、停戦ライン北側から砲撃してきた場合、即座に反撃する役割を担っている。

資料によると、米国軍は同旅団も南方へ移転させようとしたが、韓国政府の強い要望によって残留させることになったという。

# 関西防衛を支える会 メールアドレス登録のお願い

関防会ではメールマガジンを開設致しています。関防会の活動内容、行事参加のご案内、また自衛隊の諸行事のご案内等をメールで皆さまにお届けいたします。

会員登録のお願い  
会員登録のお願い  
会員登録のお願い

関防会  
Facebook  
ページ



鶴真衣のCD  
「千年のいのち さくらのうた」  
※関防会限定、直筆サイン入り。数に限りがありますので、同封チラシにてお早めにお申し込み下さい。  
1枚 2,750円

**会員の声を募ります**  
事務局へメールでお送り下さい  
メールのない方はご郵送でもどうぞ

## 編集後記



10月、11月は、行事予定が集中していて、例年、出席者にはスケジュールの調整に悩む季節となりました。編者は慰霊顕彰である10月20日の大阪護国神社秋季例大祭、同じく10月27日、大阪護国神社 特攻勇士慰霊祭に参加して参りました。

秋季例大祭は、殉国の英霊に慰霊の誠を捧げ、遺族、戦友、崇敬者の安寧、さらに皇室・国家の隆昌と世界平和が祈願されました。

一方、特攻勇士慰霊祭は、平成21年4月に「特攻勇士の像」が建立され、その年の10月に竣工除幕式と第1回特攻勇士慰霊祭が行われました。昨年は第11回特攻勇士慰霊祭に当たります。今回も自衛隊による音楽演奏の奉納が挙行されました。この心地好い慰霊祭の時を同じくして、御本殿においては七五三参りの御祈禱が同時進行中でありました。7歳らしき女の子とご家族の神妙で希望に満ちた表情に、微笑ましい光景を感じ、御一家の弥栄を祈らずには居られませんでした。

この平和で平安な文化生活を、いつまでも護りたいものであります。

(中村恵英)

## 謹賀新年 陸・海・空 自衛官募集

本年もよろしくお願いたします。

自衛官候補生・一般曹候補生の採用年齢の上限が  
**33歳未満**まで引き上げられました

自衛隊大阪地方協力本部 06-8972-0643 自衛隊京都地方協力本部 075-808-0821  
自衛隊滋賀地方協力本部 077-524-6446 自衛隊奈良地方協力本部 0742-23-7001  
自衛隊兵庫地方協力本部 078-261-9777 自衛隊三重地方協力本部 059-225-0631  
自衛隊和歌山地方協力本部 073-422-5116

関西防衛を支える会  
会長  
**高橋忠義**

関西防衛を支える会 名誉会長  
（株）経営センター  
会長 **濱野晃吉**  
〒542-0081 大阪府中央区南船場三十一番十一  
TEL(06)6245-7490 心斎橋 大陽ビル  
FAX(06)6245-7489

## 謹賀新年

新春を迎え  
皆様のご多幸を、  
お祈り申し上げます

海上自衛隊を励ます会  
海防会  
海防会HP: <http://kaiheikai.mh.jp>

関西水交会  
〒532-0011 大阪府淀川区西中島  
三の十二の十五 六〇一  
TEL(06)6459-9123

近畿偕行会  
特攻勇士顕彰会  
会長 **加賀本昭雄**  
〒664-0012 伊丹市緑ヶ丘二丁目九七  
TEL・FAX(071)七八五八九五四  
e-mail:akio@room.oon.ne.jp

大阪護国神社  
〒559-0015 大阪市住之江区南加賀屋一丁目七七  
TEL(06)6681-1377  
FAX(06)6681-1377  
E-mail:info@osakagokoku.or.jp

前衆議院議員  
**西村真悟**

日本会議大阪  
大阪市支部  
支部長 **寶來扶佐子**  
〒553-0003 大阪府福島区福島二丁目八番一七  
TEL(06)6451-1590  
FAX(06)6451-1590

関西白鷗遺族会  
株式会社SAMURAI代表取締役  
山田正克税理士事務所代表  
会長 **山田正克**  
〒606-8385 京都市左京区川端御池上ル東側孫橋町23番地  
SAMURAIビル2F  
TEL(075)771-1389  
FAX(075)771-1388  
URL:<http://kansai-nakvoizokukai.jp/>

丹櫻会会計幹事  
（陸上自衛隊中部方面隊オビオンリーダーOBB会）  
自衛隊摂津協力会 会長  
**辻井正房**  
〒566-0001 大阪府摂津市千里丘二丁目三二九  
TEL(06)6388-1387  
FAX(06)6388-1500

海軍俱樂部  
〒611-0002 京都府宇治市木幡南山六八の一八 寺川方  
TEL(074)331-7586  
e-mail:terashige@msj.biglobe.ne.jp

市民と海上自衛隊の集い  
会長 **石井泰介**  
〒659-0068 若屋市業平町七十九番一五〇二  
TEL・FAX  
(079)381-1477

コンピュータソフト開発全般  
**株式会社 エヌエスアール**

〒550 0014 大阪市西区北堀江一丁目一五二一  
 四ツ橋新興産ビル11F  
 TEL (06) 6536-1147  
 FAX (06) 6536-1361  
 URL <http://nhonssystemresearch.co.jp>  
 E-mail: [enainmain@nhonssystemresearch.co.jp](mailto:enainmain@nhonssystemresearch.co.jp)

真正保守のオビニオン紙  
**新聞『アイデンティティ』**

発行人・主幹

**葛目 浩一**

〒651 2135 神戸市西区王塚台三丁目五十二  
 電話・FAX  
 〇七八九二八二六〇五

**株式会社アットイクス**

代表取締役 **岸本 泰成**

〒550 0014 大阪市西区北堀江二丁目一七  
 北堀江ゲイトビル10F  
 TEL (06) 6531-9008  
 FAX (06) 6531-9007  
 www.at-ix.co.jp

今西土地建物株式会社  
 今西建設株式会社

代表取締役 **今西 恭晟**  
 代表取締役 **今西 頼久**

〒541 0041 大阪市中央区北浜四の二の十三  
 淀屋橋今西ビル2階  
 TEL (06) 6221-1344

清交社芝蘭会  
 株式会社ヒラク

**加藤 拓**

〒664 0851 兵庫県伊丹市中央2丁目2-16  
 TEL (072) 785-1507  
 FAX (072) 785-1878

企画・デザイン 印刷全般  
**南陽印刷株式会社**

代表取締役 **河合 雄一**

〒558 0055 大阪市住吉区万代三丁目二五  
 TEL (06) 6678-3661  
 FAX (06) 6678-3662  
 Email: [info@nanyo-net.com](mailto:info@nanyo-net.com)

**株式会社 永木精機**

取締役会長 **永木 康司**

代表取締役社長 **永木 祥弘**

〒574 0045 大阪府大東市太子田三丁目三十一号  
 TEL (072) 871-3456  
 FAX (072) 870-7167

環境のコンサルタント  
**関西環境リサーチ株式会社**

取締役会長 **櫻井 益雄**

〒572 0021 大阪府寝屋川市田井町二丁目三〇  
 TEL (072) 835-5598  
 FAX (072) 835-5276  
 Email: [ker@aito.ocn.ne.jp](mailto:ker@aito.ocn.ne.jp)  
 URL <http://kansai-kankyuu.com>

清掃と害虫駆除のエキスパート  
**株式会社 日本衛生公社**

代表取締役 **菊池 哲也**

〒540 0004 大阪市中央区玉造2-3-17  
 アルマビルビル4階

株式会社タカセン  
 企画・製作・印刷

代表取締役 **高田 文明**

〒542 0012 大阪市中央区谷町六丁目一番五号  
 谷町伊藤ビル三〇二号  
 TEL (06) 4304-0410  
 FAX (06) 4304-0411  
 携帯 (090) 3351-9645  
 E-mail: [takada@takasen.com](mailto:takada@takasen.com)

有限会社  
**関西保険コンサルタント**

代表取締役 **辻 輝也**

〒567 0816 茨木市永代町八丁目三〇  
 大槻ビル2階  
 TEL (072) 620-8602  
 FAX (072) 620-8603  
 Email: [info@hokenya.jp](mailto:info@hokenya.jp)

◆旅のことなら何でも  
 お気軽に相談ください◆

**(株)浪速観光社**

代表 **北嶋 富士雄**

〒545 0052 大阪府阿倍野区阿倍野筋五丁目三十一号  
 TEL 06-6653-1411  
 FAX 06-6653-1867  
 E-mail: [tanura-0101@naniwakankou.co.jp](mailto:tanura-0101@naniwakankou.co.jp)

有限会社ハヤシスポーツ

代表取締役 **林 博之**

本社 京都府舞鶴市字引土三〇〇番地  
 PX店 舞鶴地方総監部  
 厚生センター他二店舗

Bar & カラオケ  
**Husky**  
 (ハスキー)

**大西 孝子**

〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-15-11  
 エレガンスビル8F  
 TEL06-5245-1660

本は著者の分身  
 記憶は一代、記録は末代  
**自分史・社史**

お気軽にどうぞ下さい。  
**ドニエプル出版**  
 八尾市山本町南 6-2-29  
 TEL072-926-5134

舞鶴港とれとれセンター

理事長 **藤元 達雄**

〒624 0946 京都府舞鶴市下福井九〇五  
 TEL (077) 756-1255  
 FAX (077) 759-9500

福島天満宮

宮司 **寶 來 扶佐子**

〒553 0003 大阪市福島区福島二丁目八番一号  
 TEL (06) 6451-5907  
 FAX (06) 6451-5906

**保口 廣 幸**

社団法人 大阪府隊友会 副会長  
 隊友会 北大阪地区支部協議会 会長  
 大阪地本阪東地区を支援する会副会長  
 関西防衛を支える会 常任理事

**株式会社 マツダスクリーン**

会長 **松田 清**

〒599 8102 大阪府堺市東区石原町二丁目三番地の二  
 TEL (072) 258-0002  
 FAX (072) 258-1281  
 URL <http://www.matsuda-screen.co.jp/>

松本藤一法律事務所

弁護士 **松本 藤一**

〒541 0042 大阪市中央区今橋一丁目一六  
 コルマー北浜ビル八階  
 TEL (06) 4707-8518  
 FAX (06) 4707-0038

関西防衛を支える会 会員  
 伊丹自衛隊協力会 会員

阪急伊丹駅より徒歩3分

SSS級SS級  
**認定眼鏡士の店**  
 meganeのマトバ  
 的場 廣海

〒664-0851 伊丹市中央1-9-11  
 電話 072-772-1025  
 携帯 090-7879-6911



日の丸印の小娘ロック

やまぐち **山口 采希** あやき

おじいちゃんおばあちゃんの  
 青春の歌を継いで行く!  
 連絡先 山村ケンゴウ  
 〇六六九七二三七八

イベント・式典・商品工事・建築など  
 写真撮影 ビデオ撮影  
 写真修正合成  
 不要物消去など写真加工

映像百貨ヨシオカ  
**株式会社ヨシオカカメラ店**

〒660 0884 兵庫県尼崎市神田中通三丁目五五六  
 TEL (06) 6411-5511  
<http://www.yosioaka.co.jp>  
 E-mail: [info@yosioaka.co.jp](mailto:info@yosioaka.co.jp)

人材紹介・派遣のことなら  
**株式会社 未来 JAPAN**

代表取締役 **森 英基**

〒169 0073 東京都新宿区百人町二丁目九一六  
 竹内ビル三三B  
 TEL (03) 5937-1393  
 TEL (03) 5937-1394  
 E-mail: [k.takahara@miraijapan.jp](mailto:k.takahara@miraijapan.jp)

関西防衛を支える会  
 事務局長

**奥 久 嗣**